

平成26年 第4回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	1 番	浅 沼 美弥子	一問一答
2	4 番	海老原 作 一	一問一答
3	1 7 番	金 丸 和 史	一問一答
4	1 5 番	上 條 公 司	一問一答
5	1 0 番	中 澤 俊 介	一問一答
6	1 1 番	橋 本 和 治	一問一答
7	1 9 番	山 田 喜代子	一問一答
8	3 番	岩 崎 成 子	一問一答
9	1 4 番	山 本 清	一問一答
1 0	1 3 番	松 尾 榮 子	一問一答
1 1	1 2 番	藤 代 武 雄	一問一答
1 2	2 番	雨 宮 弘 明	一問一答
1 3	1 8 番	板 橋 睦	一問一答
1 4	1 6 番	軍 司 俊 紀	一問一答
1 5	2 1 番	小 川 義 人	一問一答

質 問 1

質問者 1 番 浅沼 美弥子

1 地域包括ケアシステム構築に向けての取り組みについて

11月1日における当市の高齢化率は19.1%。国立社会保障・人口問題研究所の推計では10年後の平成37年には28.6%に上昇すると推計されている。高齢化に伴う要介護等認定率も全国平均に比べると低いものの、平成21年13.8%から年々上昇を続け11月1日現在14.2%に。10年後の平成37年には16.7%と大きく上昇すると推計されている。

また、一人暮らし高齢者世帯が総世帯数に占める割合も平成12年の10%から平成17年12.9%平成22年には14.4%に上昇し今後も上昇が予想される。

このように高齢化が進む一方、社会保障の維持・拡充のための財源である消費税の見直しも予定通りに進むのか不透明、介護の担い手不足なども予想される中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活が続けられる新しいシステムの構築は、これからの深刻な超高齢社会への対応に欠かせない喫緊の課題であり、医療、介護、予防、住まい、生活支援などを切れ目なく提供できる体制として、当市の実情、特性に合った仕組みを市民や関係諸団体等と共に構築しなければならない。

そこで以下の課題から当市の包括ケアシステムの取り組み状況はどうなっているか、また今後の計画等について伺う。

- (1) 医療と介護の連携
- (2) 認知症施策の充実
- (3) 生活支援サービス
- (4) 住まいの確保策

国の2013年の合計特殊出生率は1.43。少しずつ回復に向かっているようだが、国は、2060年人口1億人程度が維持できるように出生率1.8を目指すという。そのためには安心して子供を産み育てられる社会の実現に向けて妊娠から出産、育児までを切れ目なく支援する仕組みづくりが重要である。そこで

2 子育て支援について

(1) 人材の活用・育成

- ①子育て支援員（コンシェルジュ）等の設置計画はどうなっているか。
- ②（仮称）子育てマネージャー・チャイルドパートナー等の新設、児童委員などと連携し、切れ目のない見守り体制を整備する考えはないか。

(2) 潜在する多様なニーズへの対応策として日曜保育やお泊り保育等の体制を整備する考えはないか。

(3) ひとり親家庭支援策の周知が不足してないか。

3 小中一貫教育の導入について

校舎分離型小中一貫教育の導入などの考えについて伺う。

質 問 2

質問者 4番 海老原 作一

1 「公共施設等総合管理計画」の策定について

平成26年4月22日総務省は、地方公共団体に対して、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を維持するため速やかに「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むよう要請を行い、同時に、「公共施設等総合管理計画」の記載事項、留意事項をまとめた「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」を地方公共団体に通知をしました。

印西市においても平成26年度当初予算に「市有建築物現況調査及び公共施設改修計画指針」を策定するための経費が計上され、調査結果に基づき公共施設の改修計画の指針を策定するほか、併せて公共施設の配置等を含めた効率的な管理運営を図っていくための基礎データとするとしています。また、「公共施設等総合管理計画」との整合を図りながら、計画的に公共施設の維持管理を進めていくとしています。そこで、以下の質問をいたします。

(1) 「公共施設等総合管理計画」の策定について

(2) 「市有建築物現況調査及び公共施設改修計画指針」策定の進捗状況について

2 市有建物の修繕、改修に対する考え方について

従来、印西市では、建物の修繕、改修は壊れてから直すという事後保全が主流であったが、将来的には、すでに有効活用している建物の的確な保全と、安全性、機能性、用途などに課題のある建物を改修し、有効活用を図り、これまでの事後保全主体の予算を組むという考え方を改め、計画的保全主体の予算へと変換していく必要があります。そこで、以下の質問をいたします。

- (1) 建物の修繕、改修に要する費用の認識について
- (2) 建物の保全を長期的に継続するための修繕、改修予算の確保について
- (3) 個々の建物に対する劣化診断と不具合評価について
- (4) 計画的保全の財政的効果をどの様に認識しているか

質 問 3

質問者 17番 金丸和史

1 教育に関することについて

(1) 教育委員会制度の変更に伴う対応

- ①総合教育会議はどのようになるのか。
- ②法令施行に伴う現教育委員会及び教育委員会議に変化はあるのか。
- ③教育委員及び教育委員長並びに教育長に変化はあるのか。
- ④首長の政治介入に対する対策は。

(2) 「適正規模・適正配置方針案」の進捗状況

- ①文部科学省の考え方は。
- ②通学区域審議会の開催の必要性はどうか。
- ③実施の段階におけるバス通学の可能性は。

(3) 平成27年度当初予算について

- ①予算要求の概要はどのようになったのか。
- ②教育現場からの要求に対するものについて、十分に伝えられて予算となったのか。

- ③全校エアコン設置に向けた予算となっているのか。
- (4) 夜間中学校・土曜授業に関すること
 - ①夜間中学校の検討は。
 - ア 千葉県における状況はどうか。
 - イ 教育委員会としての設置に向けた検討を行うべきと考えるがいかがか。
 - ②土曜授業の検討は
 - ア 千葉県における状況はどうか。
 - イ 検討は行っているのか。
- (5) 教育資金の一括贈与に係る贈与税非課税措置
 - ①制度周知は十分に行われているのか。
(平成27年12月31日までの時限措置であること等)

2 北総線に関することについて

- (1) 6市による耐震化補助金が合意に至った経緯は。
- (2) 負担額の公平性の担保については、どのように考えたのか。
- (3) 運賃の「更なる値下げ」に向けた方策はあるのか。

3 労働条件審査の実施について

- (1) 前定例会後、市として検討は進んでいるのか。
- (2) 試行実施を行うべきと考えるが、市長の意向はどうなのか。

4 企業立地促進条例に関すること

- (1) 第5条の「指定事業者の要件」に「防災」という観点を盛り込む一部改正を行うべきと考えるが、どのように考えているか。

5 消費税に関することについて

- (1) 10%とする税制が先送りされた場合の影響は。
(関連法令が併せて改正された場合の想定を含めて)

質 問 4

質問者 15番 上 條 公 司

1 GIS（地理情報システム）等有効活用による工事システムの構築及び政策立案について

去る9月16日、木下郵便局付近でガス工事業者が誤って水道管を切断した。夕食準備の時間帯であり、大森・木下地区では多大の迷惑を被った。その対応策を訴えたい。

また、平面図から新たな視点で空家対策や高齢者福祉を進めるよう提言したい。

- (1) 埋設施設であるガス・水道・下水道等の平面図の立体化、一体化の構築を進めてはどうか。
- (2) GIS利用の現状と施策への活用

2 東京電機大学情報環境学部の撤退による影響について

大学を誘致して街づくりを進めている自治体は全国に数多ある。印西市には3つの大学があるがどのように連携していくのか、いかに共栄していくのか問う。

- (1) 印西市の街づくり構想において東京電機大学をどのように位置づけていたか
- (2) 産学官連携事業の現状と今後

3 公有資産のマネジメントについて

公共施設の統廃合、長寿命化など計画的に行うことにより、財政負担を軽減、平準化するとともに、その最適な配置を実現して有効活用をはかり、時代に即した街づくりを目指すべきだ。

- (1) 印西市の公共施設管理の現状
- (2) 公有資産マネジメントのための総合計画を策定してはいかがか

4 英語教育の早期化と高度化への対応策と数学教育におけるパソコン・タブレット端末の利用について

次期学習指導要領の改訂が中央教育審議会に諮問された。数年先には小学校3年生から英語教育が始まる。現在印西市では5年生から英語を勉強しているが、自治体によっては既に3年生から、東京では1年生から始めている。

ICT（情報通信技術）の発達はめざましい。これを上手に導入した教育も考える必要があると思っている。

- (1) 英語教育の現状と今後の変化をどのように認識しているか
- (2) 英語、数学の実験校を指定してはどうか

5 鹿黒地区の街づくりについてインフラ整備はどの程度まで進んでいるか
通学路の危険性から、入居時期やその対策等を以前に質問した。給食センターの用地も決定し、まもなく建設も始まるのだろうが、倉庫会社の進出等、近隣住民には正しい情報を提供していただきたい。

- (1) 8住区計画の進捗状況と入居開始時期
- (2) 進出予定会社のスタートはいつごろになるか

質 問 5

質問者 10番 中 澤 俊 介

1 教育行政について

- (1) 長期的ビジョンをどう示すのか
 - ①東京電機大学情報環境学部の今後
 - ②県立印旛明誠高校の定員
 - ③市立中学校のICT教育の推進
 - ④市立小学校の施設整備
 - ⑤認定こども園の課題

2 ふるさと納税について

- (1) 印西市ではどのように運用しているのか
 - ①寄附の実績と課題

3 医療行政について

- (1) 持続可能な二次救急医療はどうあるべきか
 - ①印西総合病院の再生

(2) 薬物乱用対策をどうすべきか

①危険ドラッグの対応

4 交通インフラについて

(1) 幹線道路の渋滞緩和をどう考えるか

①主要地方道千葉竜ヶ崎線バイパスの整備

②国道464号線掘割部の整備

(2) 上野東京ライン開業に伴うJR成田線の利便性向上にどう取り組むのか

①東京駅・品川駅へのアクセス

②JR成田線の危機管理体制と耐震化対策

質 問 6

質問者 11番 橋本和治

1 ごみの減量政策について

(1) 10月4日に開催された「ごみを減らす暮らしづくり講演会」の総括を伺う。

(2) 印西市におけるごみ排出量の近年の傾向と今後の排出量削減に向けた取り組みについて伺う。

(3) 今年度のクリーンパートナー活動報告書第一期分に対する評価を伺う。

2 市の広報について

(1) 平成26年10月3日付広報いんざい特別号の費用と効果を伺う。

(2) ARリーダー導入について伺う。

(3) i 広報紙導入について伺う。

3 防災対策について

- (1) 在宅避難の推進策を伺う。
- (2) L C P住宅の推進策を伺う。

質 問 7

質問者 19番 山 田 喜代子

1 子育て支援の充実を

- (1) 保育園、学童保育の待機児童の解消をどうはかるのか。
- (2) 「義務教育は無償」とした憲法第26条など、関連法に基づいて、小中学生のいる家庭に学用品費、給食費、医療費などを補助する就学援助制度は十分に機能しているか。どう充実をはかる考えか。
- (3) 子どもの貧困が問題になる中、ひとり親家庭、特に母子家庭の所得は全世帯の半分を下回り、働いているのに貧困という国際的に見ても例のない状況だ。ひとり親家庭への支援は充分といえるか。どう支援していく考えか。
- (4) 児童福祉法第2条では、「国及び地方団体は児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」と規定している。現在、中学卒業までの医療費無料化を18歳まで延長する考えはないか。

2 安全な歩道の整備を早急に

- (1) 未整備の歩道の状況は把握されているか。
- (2) どう整備していく考えか。特に、県道竜ヶ崎線、八千代市との接続部分、鹿黒橋の歩道等。

3 A E D（自動体外式除細動器）の活用について

A E Dが設置され、10年が経過した。設置数は全国で40万台を超えたとみられるが、心肺停止状態で救急搬送された人に対する市民の使用率は、3.7%（2012年）とのことだ。

低利用率の一因として、市民の意識「使い方がわからない」との声がある。誰でも使えることを周知する必要があると考えるが、どう周知をはかり、活用していく考えか。

4 東京電機大学の移転によるまちづくりへの影響について

2018年度をめどに東京電機大学が施設を残して都内に全面移転することとなった。

今後、市は大学と様々な課題について協議していく考えがあるのか、今後の市の対応について伺う。

質 問 8

質問者 3番 岩 崎 成 子

1 平成27年度の予算編成並びに重点施策について

- (1) 平成27年度の予算編成の基本的な考えについて伺います。
- (2) 予算の規模について伺います。
- (3) 財政の見通しについて伺います。
- (4) 平成27年度に取り組んで行く重点施策について伺います。

2 高齢者福祉施策について

- (1) 平成24年3月に策定し現在に至っている第5期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の検証と評価について伺います。
- (2) 平成27年3月に策定を予定している第6期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況について伺います。

3 教育の充実について

- (1) 幼稚園・小・中学校の現場から要望される教育備品等の整備状況について伺います。
- (2) 学力向上ほか、中学校生活になじめず不登校などになる「中一ギャップ」解決の効果が期待されている小中一貫教育についての見解を伺います。

(3) 学校統廃合について、教育委員会における協議の進捗状況は。

4 公共交通の充実について

市民の皆様の最も関心が高く、満足度の低い公共交通については、早急な取り組みが期待されています。そこで伺います。

(1) 交通不便地域解消のための具体的な取り組みについて伺います。

質 問 9

質問者 14番 山 本 清

1 北総線運賃問題

- (1) 橋脚の耐震補強の補助金金額を決定した際、板倉市長は白井市長にいくつかの提言をした、と聞く。それは、どのような提言か。
- (2) 9000万円もの補助金を出すのであれば、学割定期のみならず、通常の単発切符運賃、通勤定期運賃についても値上げ凍結を求めるべき、と考えるが、どうか。
- (3) 「消費税10パーセント」が先送りされた場合は、北総線運賃値上げはどうなるのか。

2 萩原の土砂問題

- (1) 土砂が市道（印旛村時代の村道）にはみ出して堆積し始めたのは、いつごろからか。
- (2) 印旛村役場は、どのように対応したのか。
- (3) 市道の上に土砂が堆積している場合、法的には印西市は何をなすべきか。
- (4) 今後、印西市はどのような対応をしていくか。

3 印西市の教育

- (1) 今年の吹奏楽コンクールで、印西市の中学校2校が東関東コンクールに進出した。この成果を、どのように評価しているか。
- (2) この成果を、今後の印西市の音楽教育にどのように活かしていくか。
- (3) 「小中一貫」について、どのような試みを考えているか。

- (4) 近づいてくる小学校の英語教科化に向けて、どのように対応していくか。
- (5) 教室エアコンの進捗状況はどうなっているか。
- (6) 通学路の横断歩道が消えている問題で、市は県警にどのような働きかけをしているか。

4 印西市ホームページの管理

- (1) 印西市ホームページの管理者はだれか。
- (2) 市議会のホームページは、独立しているのか。それとも印西市ホームページの一部か。
- (3) ある内容を印西市ホームページに掲載するかどうかについて、庁内ではどのように決めるのか。
- (4) 市長が「個人の判断」で掲載の可否を決定する、ということはあるか。

5 印西市の商業振興

- (1) グッドマン・ビジネスパークは、どのような計画か。
- (2) 何人程度の雇用が創出されるか。
- (3) グッドマン側は「ひとつの街をつくる」と説明している。今後、印西市のまちづくりとの摺り合わせは、どのように行われるか。

質 問 1 0

質問者 13番 松尾 榮子

1 千葉ニュータウン事業について

千葉ニュータウン事業に関連する市内への大型企業進出等が話題になっています。3年連続「住みよさ日本一」などで、都心と成田空港の中間地点に位置する好立地と千葉ニュータウン事業に伴う急成長などが全国に知られるにつれ、活発化している土地処分と市のまちづくりについて伺います。

- (1) 企業進出、住宅開発等の新たな動向
- (2) プロジスパーク千葉ニュータウンほかと9住区のまちづくりについて
- (3) グッドマンジャパンによる8住区の新規開発計画について

- (4) 2 1 住区整備の進捗状況について
- (5) 大街区開発と周辺道路整備について
- (6) 東京電機大学千葉ニュータウンキャンパスの学部移転について
 - ①市経済等への影響
 - ②産学官連携について
 - ③移転後の体制
- (7) その他の課題について

2 北総線運賃問題と耐震化対策事業について

印西市は10月24日、北総線の耐震化対策事業への補助について千葉県内沿線6市での協定に合意したとのことです。そこで伺います。

- (1) 耐震化対策沿線市協定に至るまでの経緯
- (2) 負担割合の考え方について
- (3) 北総線運賃「さらなる値下げ」の実現方策

3 北千葉道路について

千葉ニュータウン地域と成田空港を直結する北千葉道路の進捗に伴い、企業進出が活発化し、新たな地元雇用の場なども生まれようとしています。こうした動きに伴い、都心と成田空港を結ぶ北千葉道路の重要度がますます増してきています。そこで前議会に引き続き伺います。

- (1) 国道464号掘割部鎌ヶ谷方面出口の開設についての検討状況
- (2) 鎌ヶ谷ー市川間の事業化に向けた動き

4 スポーツ振興について

7月の印旛郡市民体育大会、8月の高校総体空手道競技に続き、9月には関東大学女子駅伝対校選手権大会、10月にはクライミングワールドカップ2014が多く数の市民ボランティア等の協力のもと、市内で開催され、国内外から印西を訪れた一流選手たちが、全国レベル、世界レベルの競技を展開しました。こうした貴重な機会を、市内スポーツのさらなる振興、子どもたちのスポーツ意識の向上につなげ、市民のスポーツがさらに興隆していくよう、次の各点について伺います。

- (1) 各大会の総括と課題について
(参加者、来場者、交通手段、ボランティア体制等)
- (2) クライミングワールドカップ2014等、世界レベルのスポーツの教育への活用について
- (3) 市民スポーツの興隆～家族・友人単位で利用できるスポーツ施設の拡充について

5 印西市老人福祉センターについて

社会全体の高齢化の中で、市内の高齢者が元気に集い、活動できる場が益々求められてきています。市内の老人福祉センターについて伺います。

- (1) 市老人福祉センターの配置について
- (2) 利用内容について
- (3) 中央駅前地域交流館「いこいの家」の位置づけについて
- (4) 老人福祉センターの名称について
- (5) 今後の全体計画等について
- (6) いこいの湯の再開について

質 問 1 1

質問者 1 2 番 藤 代 武 雄

1 生活環境対策について

- (1) 生活道路等の修繕計画について
 - ①救急車両の走行確認等について
 - ②市道山田平賀線の道路強度対策について
 - ③県道印西佐倉線の交通安全対策事業の進捗状況について
- (2) 有害鳥獣駆除対策について
 - ①生態範囲の把握について
 - ②捕獲及び防護柵の設置状況について
 - ③鳥獣被害対策実施隊の設置について

2 農業振興について

- (1) 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の策定について
- (2) 新規就農促進事業の取り組み状況について

3 高等教育機関との連携について

- (1) 連携の基本方針について
- (2) 連携の状況と課題について

- 4 教育政策と施策について
 - (1) 教育改革について
 - ①国の教育改革に対応する本市の教育施策について
 - ②教育委員会制度改革について
 - ア 改革の目的と改正内容について
 - イ 施行に向けての教育委員会としての対応について
 - (2) 学校の適正配置について
 - ①大規模校・小規模校の指導上での課題について
 - ②適正配置計画策定の進捗状況について
 - (3) 小中一貫教育について
 - ①教育委員会として、一貫教育について調査・検討を行っているか。
 - (4) 学校教育の施策について
 - ①特色ある教育の推進について
 - ア 本市独自の事業内容と取り組み状況について
 - (5) 社会教育の施策について
 - ①社会教育機関の運営について
 - ア 公民館の市民ニーズについて
 - イ 図書館の市民ニーズについて
 - ウ 文化ホールの改修計画について
 - ②文化財の保護・活用事業について
 - ア 基本的方針と事業計画について

質 問 1 2

質問者 2 番 雨 宮 弘 明

- 1 印西市は住みよいまちかどうかについて
 - (1) 「住み良さ」の指標・条件は何か。
 - (2) 市が実施している「満足度・重要度調査」の結果はどうなっているか。
- 2 市の広報体制について
 - (1) 東京電機大の移転計画が新聞報道されたが、秘書広報課は、どのように

対応したか。

- (2) 広報関係を含む組織改革議案が否決されたままになっているが、早急に実現すべきではないか。
- (3) 東京電機大の移転をどのように受けとめ対処しようとしているのか。

3 公共施設の偏在について

- (1) 総合福祉センターの機能再検討には着手したのか。
- (2) いこいの湯の代替について温水センターの利用検討をすすめているか。
- (3) クリーンセンター移転後の跡地活用と合わせて、公共施設の適正配置について検討しているか。

4 北総線の運賃問題について

- (1) 昨年12月末に森田知事に提出した沿線6市長連名の「合意書」第4項に基づく協議の場設定を求める「要請書」は、その後どうなったのか。
- (2) 北総鉄道及び千葉ニュータウン鉄道の累積損失解消の時期が見通せる状況になってきたが、「更なる値下げ」について、6市で協議しているか。

5 介護保険料還付未処理問題について

- (1) 調査は完了したのか。
- (2) 未処理金額 7,722,670円のは大半は、前市長時代のものだが、山崎前市長から事情を聴取したか。

質 問 1 3

質問者 18番 板橋 睦

1 県営手賀沼終末処理場に一時保管されている指定廃棄物について

- (1) 保管期限は来年3月までだが、搬出（持ち帰り）の具体策は。
- (2) 搬出について、周辺町内会、住民への説明はどうするのか。
- (3) 地元町内会からの要望はどのようになっているのか。
- (4) 搬出後（来年4月以降）の施設及び住民への対策、対応は。

- 2 東京電機大学情報環境学部の今後について
 - (1) 移転情報について、市はどのように把握しているのか。

- 3 印旛高校跡地活用について
 - (1) 前定例会後の進捗状況について

- 4 木下小学校について
 - (1) 法面復旧工事
 - (2) 今後の安全対策

- 5 牧の原小学校について
 - (1) 建設工事の進捗状況
 - (2) 入学児童数の見込み

- 6 クライミング ワールドカップについて
 - (1) 成果と課題

質 問 1 4

質問者 16番 軍 司 俊 紀

- 1 子ども・子育て支援法について

国の子ども・子育てをめぐる多くの課題を解決するため、「子ども・子育て支援法」を中心とする子ども・子育て関連3法が成立し、来年4月から子ども・子育て支援新制度が本格スタートします。新制度は、消費税率引き上げによる増収分の一部が財源として充てられることとなり、貴重な財源を、子ども・子育て支援のために効果的に活用していくことを予定しています。

 - (1) 消費増税が先送りされた場合、新制度の主たる目的を印西市では達成するのが可能か。
 - (2) 新制度に関わらず、保育の場を増やし、保育園待機児童は解消すべき課

題であると考えるが、市の現状と今後をお聞きする。

- (3) 幼児期の学校教育及び保育の質の向上はどのように図るつもりか。
(特に学童保育の充実についてお聞きする。)

2 二次救急医療と印西市について

印西総合病院が民事再生を申請し3ヶ月が過ぎ、また夜間診療を行うと周知していた「印西平原クリニック」も事実上休業状態にある。印西市は休日夜間を含む救急医療体制を今後、どのように市民に提供していこうと考えているのか。

3 千葉ニュータウン地域の今後について

- (1) グッドマン・ジャパンは11月13日にマルチテナント型物流施設を含む総合的なビジネスパークの開発を千葉ニュータウンで行うと発表した。この開発は、グッドマンがマスタープランを手掛ける革新的なコンセプトの大規模ビジネスパークとし、複数の施設で構成し、その竣工価値は総額1,000億円超としている。
印西市ではこの情報に関して、同社と接触をもっているのか。
- (2) 住居に近接している「近隣商業施設用地」は今後どうなるのか。
(高花、滝野、いには野)
- (3) 今後の千葉ニュータウン未処分用地について、URや千葉県企業庁と今年度どのような話し合いが行われているのか。

4 放射線／放射能問題について

印西市は11月14日午後、放射性物質汚染対処特別措置法に基づく汚染状況重点調査地域の指定を受けた千葉県内9市の共同により、環境大臣に宛てて、『「東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」に基づく「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康管理のあり方に関する専門家会議」に係る緊急要望』を提出しました。

この要望書の内容は、「子ども・被災者支援法に基づく健康管理並びに医療施策に関する支援は、千葉県9市を含む汚染状況重点調査地域において、すべての住民が実情に則した適正な検査や医療を選択できるようにすること」をはじめとする4項目にわたっています。

- (1) 「専門家会議」の内容を市は十分に把握しているのか。
- (2) 市民団体が先日、白井市桜台で独自に「甲状腺エコー検査」を実施し、甲状腺疾患に不安をもっている印西市民が多数、受診しました。印西市はこの状況をどのように捉え、今後、環境省への要望書の中に盛り込ん

だ「適正な検査や医療」をどのように具現化していくのか。

5 牧の原地区からの要望について

- (1) 原小学校北側道路（草深公園とふれあい文化館の間の道）は学校前に信号が設置されたとはいえ、走行車両が多く、子供が多く危険だと考えています。車がスピードを出しづらい措置は考えられないか。
- (2) 通勤、通学等で東の原地区北側に接する市道を歩行する住民が増えていますが、道路照明、街路灯が全くなく、夜間の歩行に大きな障害となっています。防犯の観点からも早急に整備が必要だとを考えるが、市はどのように認識しているのか。（牧の原地区（駅北側）も同様の声が届いている。）
- (3) 国道464号線の信号付近に繁茂する雑草が伸び放題になり苦情が寄せられる。なぜ、対応できないのか。

質 問 1 5

質問者 21番 小 川 義 人

1 介護保険法の一部改正に伴う対応について

- (1) 地域支援事業の見直しへの対応について
- (2) 介護予防事業と健康づくりについて
- (3) 庁内の体制や人員配置の整備について

2 デマンド交通について

毎定例会で各議員からの質問がありますが、当市にあった公共交通体系を構築するにあたって、下記のとおり伺います。

- (1) 導入にあたっての検証について
- (2) 高齢者福祉からの観点
- (3) 環境への配慮

3 小林地区のまちづくりについて

以下について、進捗状況を伺います。

- (1) 小林駅新駅舎の本格供用までのスケジュールについて
- (2) 小林駅南口駅前広場の整備について
- (3) 市道00-031号線について

4 通学路の安全対策について

通学路の安全対策については、事象ごとにご対応いただいておりますが、より早く、より着実に対応していただくためにも、下記のとおり伺います。

- (1) 要望の吸い上げについて
- (2) 関係各課の連携について